

稲葉さん、折茂さん、葛西さん レジェンドトーク熱く



レジェンドトークで夢の組み合わせとなった稲葉さん、折茂さん、葛西さん

ようこそ、道新へ。北海道新聞社の本社社屋などを会場に多彩な催しを繰り広げる「どうしんFanner Funフェスタ」が19日、2日間の日程で開幕した。道新ホールでは開幕イベントの「レジェンドトーク」北海道を熱くする男たち」が開催され、約650人の聴衆が日本スポーツ界を長年にわたってリードする3氏の情熱的なトークに聞き入った。

どうしんFanner Funフェスタ



発行所
北海道新聞社
郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社 2015



インターネットで道新ニュース
dd.hokkaido-np.co.jp
ご購入申し込みは
0120-464-104

Fanner Funフェスタは、地元・北海道への感謝の気持ちを込め、北海道新聞社ならではの催しを多くの道民に楽しんでもらおうと初めて開催した。日頃の取材活動や地域貢献活動などを通じて培ってきた道内外の企業・団体、個人とのつながりを生かし、バラエティーに富んだ企画を2日間にわたって展開する。レジェンドトークでは、プロ野球・北海道日本ハムの稲葉篤紀SCQ、男子プロバスケットボール・レバンガ北海道の折茂武彦・代表兼選手、土屋ホームスキー部監督兼選手で男子スキージャンプ・ソチ五輪メダリスト

トの葛西紀明選手という『夢の組み合わせ』が初めて実現した。

日ハム選手の写真展示

また、この3氏の秘蔵ショットをはじめとした道新写真展(DOBORX)や、日ハム選手の写真を展示販売する「Fanner Fun Photo」(北側エントランス)を19、20両日、開催している。

このほか19日午後5時からミニライブ(無料、申し込み不要)も。出演はロックバンド「THE武田組」と、そのボーカ



「親子で道新探検」で写真部の望遠レンズをのぞく小学生

ル武田英祐一さんと北海道新聞のキャタキヤントのユニット「ぶんちゃん」が歌う「俺たちのうた」も披露する。20日には、札幌開成中等教育学校の開校で関心が高まる「中高教育のいま、これから」(午前11時、道新ホール)、今年の道新地域げんき大賞を受けた上川管内剣淵町の若手農業グループ「VIVAマールシェ」による希少野菜の販売(午前10時〜午後5時、北側エントランス)、参加者が新聞を自由に切り抜いて自分たちの壁新聞を作る「まわし読み新聞」(午後2時と4時、カフェ・ド・クリエ)など、事前予約なしで参加できる催しも開かれる。

「起終点駅 ターミナル」 桜木さん映画への思い語る



釧路を舞台にした映画「起終点駅 ターミナル」の製作への思いを語る
桜木紫乃さん(中央)と脚本を担当した長谷川康夫さん(右)

ようこそ、道新へ。北海道新聞社の本社社屋などを会場に多彩な催しを繰り広げる「どうしんFanner Funフェスタ『ありがとうの日。』」が19日、2日間の日程で開幕した。道新ホールでは、北海道ゆかりの映画「起終点駅 ターミナル」の試写会が開かれ、約650人の観客が劇場公開に先駆けて作品を鑑賞し、原作者の桜木紫乃さん(釧路市出身)らのトークも楽しんだ。

どうしんFanner Funフェスタ



発行所
北海道新聞社
郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社 2015



インターネットで道新ニュース
dd.hokkaido-np.co.jp
ご購入申し込みは
0120-464-104

Fanner Funフェスタは、地元・北海道への感謝の気持ちを込め、北海道新聞社ならではの催しを多くの道民に楽しんでもらおうと初めて開催した。日頃の取材活動や地域貢献活動などを通じて培ってきた道内外の企業・団体、個人とのつながりを生かし、バラエティーに富んだ企画を2日間にわたって展開する。試写会は、映画の製作委員会に名を連ねる北海道新聞社の主催事業として11月7日の公開に先駆けて特別上映された。自身の作品が初めて映画化される桜木さん、札幌出身で脚本を担当した長谷川康夫さんも登場し、鳥

居和比徒・北海道新聞文部部長の司会で、製作への思いを語った。
日ハム選手の写真展示
この日はこのほか、プロ野球・北海道日本ハムプロバスケットボール・レバンガ北海道の折茂武彦・代表兼選手、男子スキージャンプ・ソチ五輪メダリストの葛西紀明選手によるレジェンドトーク、ロックバンド「THE 武田組」と北海道新聞のテレビCMでおなじみの「ぶんちゃんず」のライブも開かれた。
最終日の20日には、「起



「親子で道新探検」で写真部の望遠レンズをのぞく小学生
「起終点駅ターミナル」の撮影現場の秘蔵写真をはじめとした道新写真展(DO BOX)や、日ハム選手の写真を展示販売する「Fanner Funフェスタ」(北側エントランス)を開催する。

また、札幌開成中等教育学校の開校で関心が高まる中高教育のいま、これから(午前11時)、道新ホール)、今年の道新地域げんき大賞を受けた上川管内剣淵町の若手農業グループ「VIVAマルシェ」による希少野菜の販売(午前10時〜午後5時)、北側エントランス)、参加者が新聞を自由に切り抜いて自分たちの壁新聞を作る「まわし読み新聞」(午後2時と4時、カフェ・ド・クリエ)も開かれる。いずれも事前申し込みなしで参加できる。

札幌、道内の取り組み紹介 中高教育 いま、未来探る



発行所
北海道新聞社
郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社 2015



インターネットで道新ニュース
dd.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込みは
0120-464-104

どうしんFanner-Funフェスタ

ようこそ、道新へ。北海道新聞社の本社社屋などを会場に開催されている「どうしんFanner-Funフェスタ」『ありがとうの日。』は、最終日の20日も多彩な催しが行われ、多くの来場者でにぎわっている。道新ホールでは、札幌開成中等教育学校の開校で関心が高まる中高教育に焦点を当てたシンポジウム「中高教育のいま、これから」が開かれ、児童・生徒を持つ親や教育関係者らが熱心に聞き入った。



札幌市の「学ぶ力」を育成する教育などについて話す相沢克明校長(左)と長谷川正人教育課程担当課長



中高一貫教育の現状などについて話す久野信之校長(左)と守屋淳教授

Fanner-Funフェスタは、地元・北海道への感謝の気持ちを込め、北海道新聞社ならではの催しを多くの道民に楽しんでもらおうと初めて開催した。日ごろの取材活動や地域貢献活動などを通じて培ってきた道内外の企業・団体、個人とのつながりを生かし、バラエティーに富んだ企画を19日から2日間の日程で展開している。

「中高教育のいま、これから」では、第1部で札幌開成の相沢克明校長が同校の取り組みを紹介。札幌市教育委員会の長谷川正人・教育課程担当課長も交えて、札幌市が目指す「学ぶ力」を育

成する教育について考えた。第2部では立命館慶祥中の久野信之校長と北大大学院の守屋淳教授が、北海道の中高一貫教育の現状や、社会で求められる能力が変わる中で「学び」がどうあるべきかを探った。

この日はこのほか、今年度の道新地域げんき大賞を受けた上川管内剣淵町の若手農業グループ「VIVAマルシェ」による希少野菜の販売(午後5時まで)、北側エントランス)で、参加者が新聞を自



19日のレジエントーク終了後、来場者と一緒に記念写真。握手する右から稲葉篤紀さん、折茂武彦さん、葛西紀明さん

また、「道新まなぶんこども実験教室」、長野県・諏訪中央病院の名誉院長で作家の鎌田實さんを招く講演会「長野はなぜ健康長寿で、がん死亡が少ないのか」も開かれる(参加申し込みは終了)。

由に切り抜いて自分たちの壁新聞を作る「まわし読み新聞」(午後2時と4時、カフェ・ド・クリエ)が開かれる。北海道の自然や生き物、道内でロケが行われた映画の撮影現場などの秘蔵ショットを集めた道新写真展(DOORB)も午後7時まで開催中。これらは事前予約なしで参加できる。

鎌田實さん 長野の取り組み紹介 がんを防ぐ秘けつは？



発行所
北海道新聞社
郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社 2015



インターネットで道新ニュース
dd.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込みは
0120-464-104

どうしんFan-Funフェスタ

ようこそ、道新へ。北海道新聞社の本社社屋などを会場に多彩な催しを繰り広げる「どうしんFan-Funフェスタ」は20日、2日間の日程を終え閉幕した。道新ホールでは、長野県・諏訪中央病院の名誉院長で作家の鎌田實さんを招いた講演会が閉幕イベントとして開かれ、鎌田さんの優しい語り口に約650人が耳を傾けた。



「長野はなぜ健康長寿で、がん死亡が少ないのか」と題し、講演する鎌田實さん

Fan-Funフェスタは、地元・北海道への感謝の気持ちを込め、北海道新聞社ならではの催しを多くの道民に楽しんでもらおうと初めて開催。日頃の取材活動や地域貢献活動などを通じて培ってきた道内外の企業・団体、個人とのつながりを生かし、バラエティに富んだ企画を19日から展開してきた。

鎌田さんの講演会は、北海道新聞で連載中の「がんを防ごう」にちなんで開催された。「長野はなぜ健康長寿で、がん死亡が少ないのか」と題し、長野県の取り組みや健康長寿などについて予防医学的観点から語っ

た。講演会終了後も、北海道の自然や動物、道内でのロケが行われた映画の撮影現場などの秘蔵写真を集めた道新写真展(DO BOX)、日ハム選手の写真を展示販売する「Fan-Fun Fshot」(北側エントランス)が午後7時まで開かれていた。無料。事前予約なしで参加できる。

この日はこのほか、札幌開成中等教育学校の開校で関心が高まる中高教育に焦点を当てたシンポ

ジウム「中高教育のいま、これから」が開催された。また、今年の道新地域げんき大賞を受けた上川管内剣淵町の若手農業グループ「IVAMルシェ」による希少野菜の販売写真や「道新まなぶんこども実験教室」、参加者が新聞を自由に切り抜いて自分たちの壁新聞を作る「まわし読み新聞」などを多くの来場者が楽しんだ。



19日のレジェンドトーク終了後、来場者と一緒に記念写真。握手する右から稲葉篤紀さん、折茂武彦さん、葛西紀明さん



道新こども新聞

週刊まなぶん



北海道新聞の 土曜朝刊 に折り込み!

マスマス 未来へ。

道新は北海道の子どもたちを応援します!

購読お申し込み 0120-464-104



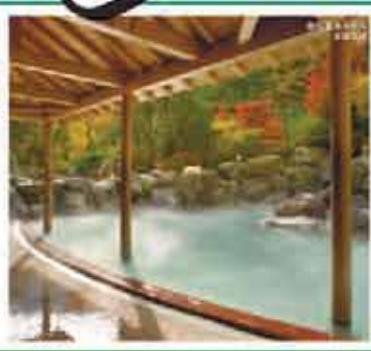
大人が教えてくれないことは まなぶん

北海道新聞社

道新ぶんぶんクラブ ワクワク感謝まつり

抽選で1,200名様に当たる! 2015年10/25日 締め切り

A賞 トーホウリゾート 共通利用券5万円分



B賞 フィリップス ノンフライヤー プラス HD9530/22



C賞 エーデルワイス ファーム(北海道) ハム・ソーセージ・ベーコン詰め合わせ

D賞 ノースファーム ストック(北海道) オリジナルパーティーセット

E賞 道北海鮮かまど

F賞 新のいたがき(豪華) ベルトポーチ

Wチャンス賞 ファイタース バスタオル

キリトリ線で切って、郵便はがきに貼ってご投函ください。

道新ぶんぶんクラブ入会申込書 兼 プレゼントキャンペーン応募申込書

Application form with fields for name, address, phone, and prize selection (A-F).

【応募資格】道新ぶんぶんクラブ会員... 【応募方法】はがき、パソコン・スマートフォン、従来型携帯電話

【お問い合わせ】道新ぶんぶんクラブ「ワクワク感謝まつり」事務局 TEL. 011-210-5754

【個人情報の取り扱いについて】1.取得した個人情報は、次の目的の範囲内で利用します。